

美しく明るく豊かなまち田布施

たぶせ

THE TABUSE ASSEMBLY NEWS

議会だより

第102号



題字は岸信介先生書

2009年(平成21年)7月24日

発行 / 〒742-1592 山口県田布施町大字下田布施 田布施町議会 ☎082(52)6800 FAX082(52)6970

編集 / 議会広報広聴調査特別委員会 印刷 / キッショウ株式会社

<http://www.town.tabuse.lg.jp/>

E-mail: gikaijimukyoku@town.tabuse.lg.jp



古代米の田植え 田布施西小学校 6月11日

6月定例会	小学校耐震診断に2,585万円決定	2P
5月臨時会	6月期 期末手当等を削減	3P
一般質問	犬の放し飼い等を追求	4P
委員会レポート		10P
議会だより101号を読んだの感想です		11P

小学校耐震診断に

2,585万円 決定

6月定例会



本 会 議 (6月18日)

平成21年6月定例会は6月18日から25日までの8日間の日程で開催されました。

本定例会では、予算1件、条例2件、人事1件、その他1件の計5件の町長提出議案及び請願1件、陳情1件を審議し、町長提出議案のすべてを全会一致で可決するとともに、請願1件、陳情1件を採択しました。

なお、初日の本会議では、6人の議員が一般質問を行いました。

町長提出議案

予 算

21年度一般会計補正予算 (第2号)

歳入歳出それぞれ6780万円追加し、予算総額49億5680万円とするものです。

主な歳入
 国庫支出金
 「地域活性化・経済危機

対策臨時交付金」
 4830万円
 繰越金
 2000万円

主な歳出
 役場庁舎耐震診断
 1000万円
 財政基金積立金
 1000万円

小学校耐震診断
 2585万円
 スクールバス購入
 600万円

給食センター設備工事
 760万円
 公民館耐震診断
 300万円

体育施設整備
 650万円
【全員賛成】

条 例

課設置条例の一部改正
 総務課工事監理室の業務を建設課土木管理係で対応することに伴い、

「工事の入札や検査に関する事項」を建設課の分掌事務とするものです。

【全員賛成】

国民健康保険条例の一部改正
 既に「産科医療補償制度」の創設により38万円に引き上げられた出産育児一時金について、国の緊急少子化対策として、平成21年10月1日から平成23年3月31日までの1年半の間に出生した場合、さらに4万円引き上げ42万円とする暫定措置です。

【全員賛成】

人 事

固定資産評価審査委員会委員の選任

あなたの要望はこうなりました

請 願

県道周東田布施線(138号)の道路拡幅についての請願書

市明自治会長
 高村武男 他6名
 採択

陳 情

尾津漁港海岸保全施設整備事業(高潮)早期着工に関する陳情書
 麻里府地域連合自治会
 会長
 西村光昭 他6名
 採択

そ の 他

物品の買入れについて
 国の「地域活性化・生活対策臨時交付金」を活用し、全自動小型動力ポンプ積載車を購入するものです。

【全員賛成】



小川正一氏

【全員賛成】

臨時会 (5月28日)

町長等・議員・職員 の6月期期末手当等を削減

町長提出議案

専決処分

税条例の改正

町民税については、21年度以後の所得税において、「住宅借入金等特別税額控除の適用がある者」の個人住民税額控除の創設等、また、固定資産税では現行の負担調整措置を継続することに伴う改正と条文整理を行うものです。

【全員賛成】

都市計画法税条例の改正

固定資産税と同様の改正と条文整理を行うものです。

【全員賛成】

国民健康保険税条例の改正

介護納付金の課税限度

額を9万円から10万円に改定するとともに、年金から特別徴収を行わない納税義務者の要件見直し、また、2割軽減の対象となる納税義務者の要件見直しに伴う関係規定を整理するものです。

【賛成多数】

予算

21年度一般会計補正予算 (第1号)

主なものは、人事院の臨時勧告による、6月期における職員の期末・勤勉手当の0.2か月分、町三役及び町議会議員の期末手当0.15か月の削減に伴い、職員手当等及び共済費を減額するものです。

【全員賛成】



臨時会 (5月28日)

特別会計3件
いずれも一般会計と同様の補正を行うのが主なものです。

【全員賛成】

条例

町長等の給与に関する条例の改正
期末手当の削減に伴うものです

【全員賛成】

教育長の給与、勤務時間

その他勤務条件等に関する条例の改正
期末手当の削減に伴うものです

【全員賛成】

町議会議員の議員報酬等に関する条例の改正
期末手当の削減に伴うものです

【全員賛成】

職員等の給与に関する条例の改正
期末・勤勉手当の削減に伴うものです。

【全員賛成】

請願・陳情の書き方

町民の皆さんの要望を町政に反映させる方法の一つに請願や陳情があります。議員の紹介があるものを請願といい、ないものを陳情といいます。取り扱いは、おおむね同じです。

記載事項等は次のとおりです。
提出年月日
あて先(町議会議長あて)
提出者の住所・氏名(団体の場合は所在地・名称・代表者氏名)
押印
紹介議員の署名又は記名押印(1名以上、ただし陳情には必要ありません。)
件名
要旨及び理由(箇条書きにするなど簡潔に記載してください。)
案内図や略図等、道路、河川、下水道など場所以関するものについては、必ず添付してください。

請願や陳情は、通常は委員会で慎重に審査し、本会議で採否を決めます。請願や陳情は、いつでも受け付けておりますが、事務処理の都合がありますので、なるべく定例会開会日の15日ぐらい前までに提出してください。定例会は3月、6月(又は5月)、9月、12月の年4回開催されます。その他不明な点については、議会事務局(☎52-5800)にお問い合わせてください。

記載例

平成 年 月 日

田布施町議会議長 様

請願(陳情)者
住所 氏名 印
紹介議員 氏名 印

陳情には必要なし

に関する請願(陳情)

1 請願(陳情)の要旨
2 請願(陳情)の理由

箇条書きなどで簡潔に記載



6月定例会
一般質問

犬の放し飼い等を追求

デジタルテレビ

対応は

国の説明会に協力

長信町長

木本 睦博



木本 睦博 議員



石城山 山頂の中継所

Q平成23年7月24日デジタルテレビに変わる。対応したテレビに買い換えるか、デジタルチューナーを接続する必要がある。我町は山間部で難視聴世帯がある。デジタルテレビの対応は総務省となっているが、町としての生活弱者、難視聴世帯への対応を問う。

A国においては、説明会を全国各地で開催することになっている。町内開催の相談があれば可能な限り協力したい。第一次的には、国及び放送業者において対応されるべきものだが、町としても支援制度を住民の方に周知すべく広報等に努めていきたい。

ほ場整備

今後の参加は

木本

5 ha以上で可能

町長



整備されたほ場

Q国営緊急農地再編整備事業を実施するための地区調査採択申請を国に提出したと聞く。基幹事業「ほ場整備200ha以上」及び併せ行う事業「暗渠排水等」で受益面積400haが採択要件である。今後ほ場整備に参加見込みの地域はあ

るのか。

A昨年、受益者全員の仮同意取得や整備後の営農計画の作成等を行った結果、町内では8地区以外に新たに参加見込みの地区はない。しかし、本年9月頃まで5ha以上の面積を有する新たな参加地区があれば、説明会を開催し、条件が整えば参加可能だ。

農業振興地域

見直しは

本年度中に行う

木本

町長

Q農業振興地域の見直しは平成7年から実施されていない。耕作放棄地が増える現状の中、2年後には、ほ場整備も予定され担い手

の育成や将来の農業を考えると、是非農業振興地域の見直しを実施すべきと考えるが、その時期と手法を尋ねる。

A本年度中に全面的な見直しを行う予定だ。ほ場整備の実施済み地区、今回の国営ほ場整備地区、農地・水・環境保全対策地域、中山間直接支払地域は農用地区域に指定し、その他は昨年実施した耕作放棄地調査結果に基づき、見直す方向で検討している。



いじめ相談カード

Q 昨年12月定例議会の私の質問への答弁にいじめは年々減少傾向とある。その後も数件のいじめに関する相談を受けている。尾崎教育長は以前小野

A 社会全体に「いじめ」を許さないという気運が高まり、学校と保護者や関係機関等の連携がより緊密になり減少傾向にあるといえる。平成16年度から県の補助事業として中学校にスクールカウンセラーを配置し対応している。小中学校への持込は原則禁止している。

田市で成果を挙げられたと聞いている。現状はいかがか。支援体制の整備は。児童の携帯電話の使用は。



畠中 孝 議員

現状や支援体制等を問う

畠中 孝

尾崎教育長

いじめ

市町合併

過去の取り組みは

畠中

民意を尊重したもの

長信町長

Q 去る3月、隣の柳井市では井原新市長が誕生した。八つの政策の一つに「平

生町、田布施町との広域合併に向けて協議を再開する」とある。この件で何か相談はあったか。相談があった時の対応はどうするか。過去の合併の取り組みは正しかったか。

A 当選の挨拶で来町された折、話題として聞いた。道州制や定住自立圏構想等の新たな流れを踏まえて検討する。平成16年6月の住民投票の結果は柳井市・大畠町との合併が50・2%と一位であり取り組みは町民の意思を尊重したものであったと認識している。



本町との合併を視野に入れる柳井市

犬の多頭飼育

要望に応じているか

畠中

迷惑をかけている

町長

A 町は狂犬病予防法に基づき保健所と連携して取り組んでいる。県の「飼犬等取締条例」に基づく指導にも立ち会っている。違反が著しい場合には行政罰を科し、指導を行う。今日まで長い間、皆さんへ大変迷惑をかけているが今後も粘り強く、強い態度で指導していく。

麻郷地区に在住の元町職員による犬の多頭飼育や放し飼いの被害が十年ほど以前から多数発生している。行政の取り組みはどうか。昨年12月8日付けの要望書への回答が3ヶ月以上後にだが遅すぎないか、地区住民の要望に応じているか。



麻郷地区の犬の放し飼い

AED

追加設置と運用状況は

清神 清

中学校ほか3台設置

尾崎教育長



清神 清 議員

Q 昨年3月議会で質問した時は町内には県立高校3箇所と西公民館に設置されていたが、教育長より今後は計画的に設置すると答弁があった。その後どこに追加設置されたか。町内でのスポーツ行事等にはいつでも使用できるよう現場に携行しているか。

A 昨年6月に中学校に設置、その後スポーツセンター、町役場、東公民

館に各1台を設置した。今年度は7月中までに小学校5校への設置を予定している。さくらマラソン大会や町内駅伝大会にもAEDを現場に携行し、直ちに対応できる体制を確保している。



竹林対策

有効活用の計画は

清神

現時点での計画はない

長信町長

A 本町の竹林面積は216ha、平生町の2・4倍と地域的に見ても竹は多い。竹は竹炭、竹酢、堆肥、家具、漁礁等があるが現時点での活用計画はない。田布施農林事務所において森林ボランティア団体を対象に無償貸し出しを行っている、導入については検討したい。

交付金を活用して粉碎機を購入し、地域に貸し出し、チップを堆肥にして有効活用する計画はないか。



田布施農林事務所に設置されている粉碎機

Q 山口県は全国でも3番目に竹林の多い県であり田布施町も例外ではない。このまま放置しておく竹林は増える一方である。竹を有効活用する計画はないか。国の

高潮対策

何年度より着工予定か

清神

早くても23年度

町長

Q 異常気象や大型台風、予期せぬ地震など、災害は忘れたころにやってくる」と言われる。これから秋にかけて台風シーズンの住民は高潮による不安が募るばかりだ。住民の安全・安心が問われる現在、着工の兆しが見えない。いつ着工予定か。

A 平成19年度に馬島地区の海岸保全事業が完了し、直ちに尾津地区に着工する予定だったが、厳しい財政状況もあり、少ない事業費で効果の見込める工法を念頭に、地元との協議に着手したところである。国庫補助で行う場合は早くても23年度の着工となる見込み。



高潮対策が望まれる尾津漁港



大波野上段
(左上向かうと生野 小行司)

Q 大波野上段から光市大和町生野經由の県道周東田布施線は、小行司地内で道幅が狭く、坂道の悪

路が2.1kmある。この間を隧道にすることで地域の利便性の向上は固より、山陽道玖珂ICへの

県と協議したい
長信町長

小行司を隧道にすいどう

藤山 巖

県道周東田布施線



藤山 巖 議員

「城南橋」「護岸」

拡幅と改修を質す

藤山

早期着工を要望する

町長



城南橋の上流右岸

Q 城南地区の田布施川に架かる城南橋は、橋の中央で一旦停止して交互通行する異例の措置がとられている。また、上流の右岸は、護岸が壊れ管理道上におよそ150mに渡って亀裂が生じている。民

家が、決壊も心配され対策が急がれる。
A 城南橋は、県道交差点に接し幅員も狭い。大型車両の離合に支障をきたしている。城南郵便局前の右岸側の護岸は侵食による管理道への影響が懸念される。何れも、県が現地を把握し検討する旨の回答をもらっているの

アクセス道、更には玖西・玖北を結ぶ縦貫道として経済的効果が期待される。

A 大波野上段から小行司までの県道は、狭隘の上に見通しが悪いことから苦情もある。地元から道路拡幅の請願書が出ており県へ早期着工を要望する。隧道化は、費用対効果や技術的な問題等が推測されるが、道路整備の方針や方法については、今後、県と協議したい。

岸・佐藤記念館

建設の基金設立を問う

藤山

調査してみたい

町長

考えはないか。

Q 岸・佐藤両宰相は、偉大な政治家で、兄弟宰相として世界的に有名である。又、田布施町名誉町民でもある。両宰相の功績を後世に伝える上から岸・佐藤記念館を建設することは極めて意義があると思う。記念館の建設へ向けて基金を設立する

A 岸・佐藤記念館建設の提言であるが、政治色の強い建物となる。生家が文化財に指定されて整備されるか、財団法人が記念館を建設し、管理運営している例はある。こうしたことから記念館建設



郷土館展示室

の基金を設置する考えはないが、私なりに思いもあるので調査してみたい。

教育はすべての源

意見文の処置は

岡崎南海子

検討は不要と判断

尾崎教育長



岡崎南海子 議員

Q 以前教育委員会に意見文を届けた。様々の被害

体験から各学校などにも届けた。都合の悪い意見

は聞かなかったことにするのが行政の慣例だが、対話により助け合っているのが民主主義と思う。いじめや差別という永遠の難問への回答になると思い届けた。

A 意見文は文科省の方針に反していたので検討する必要はないと思った。真実は事務員に手渡されたものだったが、ポストへの投げ込みと誤解して回答しなかった。これからは対話をしたい。もちろん「教育はすべての源」という言葉は知っている。

物言えぬ町民の心

行政の宣伝倒れでは 岡崎

実行の努力をする 町長

Q 「男女共同参画社会の宣伝の中、男尊女卑はひどい。また美しいまちづくり推進条例は実行されていない。」という必死の便りが女性町民から届いた。よくある行政の宣伝文句に騙されたいようにしたので尋ねたい。例えば、役場の女性管理職を増やす気持ちはあるか。

A 田布施町役場は女性管

食糧問題

町民を守る意欲を問う 岡崎

首長の責任と思う 長信町長

Q 「人は食べ物があるから生きている」けれど日本の食糧政策は国内外に犯罪的である。日本は大量に食糧を輸入して捨てる。世界は8億人が飢餓である。また、国の農政は票集め主義である。地



スーパー食品売場

理職を15%作るのを目標にしている。今14.2%で成果を上げていく。目標が低いと言われればそつである。男と女しかないのだから仲良くするつもりで女性管理職をふやす努力をする。「美しいまちづくり」は効果が上がっている。

方自治の本旨は、「上の悪政を排して住民を守ること」と思うがどうか。

A たしかに「人は食べ物があるから生きている」と思う。質問のように「生産者は苦しく、一方消費者も貧しく食糧が十分に買えない」不幸をなくするため、町独自に食糧確保の努力をしている。地方自治体の長には、国に独立して町民を守る責任があると思う。



その他の質問
首長の選挙協力について

田なおし事業

独自支援を

国永美恵子

独自策は考えていない

長信町長



国永美恵子 議員

Q 国営ほ場整備が進められている。すでにほ場整備が終わった地域で荒廃農地が見られる。この対策はあるのか。

A 今度の整備事業対象外や、地域でまとまらず事業に参加できない農家がある。この農家に田なおし事業として、町が独自支援をすべきではないか。

Q ほ場整備後の荒廃農地が0.3haある。今回の国営事業に併せ、取組み

等を推進することで解消したい。国営事業は農家負担、町負担が他事業に比べて非常に有利な事業である。町独自の田なおし事業は国営ほ場整備を推進する現状や町の財政状況から判断して、考えていない。



荒廃農地

郷土館

物品販売の基準を問う 国永

販売基準の文書化はない

尾崎教育長



郷土館

Q 本町の郷土館は郷土の歴史と文化に対する住民の知識と理解を深めるために設置された。郷土館の施設使用は教育委員会の許可が必要であるが物品等の販売は条例に定めていない。公の施設で個人の物品取扱いは厳正な対処が求められる。物品販売基準を問う。

A 私人の物品を郷土館で販売する場合は文書化したものは現在ない。しかし、過去の事例で内容が本館に関わる等に立つと判断した場合に限り展示し、希望者に販売した実績がある。販売目的ではなく、来館者へ情報提供の一環で販売手数料の徴収はない。

核兵器廃絶平和都市宣言

看板設置を

国永

場所等の検討がいる

町長

Q 核兵器廃絶平和都市宣言の看板が町役場前に設置されていたが中央橋架け替え工事のさい撤去された経緯がある。米国のオバマ大統領がプラハ演説で核兵器廃絶を提唱した今、再び看板設置をすべきではないか。美しいまちづくりの田布施になじむと思う。

A 平成6年12月議会で決議され、町役場前に看板設置。平成11年に撤去。オバマ大統領がプラハ演説で提唱されたことは重く認識する。役場周辺の施設上の制約や環境への配慮もあり今すぐ設置は出来ない。場所等の検討も進めながら、やらなければならぬ。

その他の質問

町民福祉課の窓口業務に時間延長を市町村合併、町長答弁とホームページは矛盾しないか。



平成11年 庁舎前

委員会レポート

総務文教



総務文教委員会（6月23日）

総務文教委員会は6月23日に開催し、町長提出議案の予算1件、条例1件及びその他1件を審査しました。

21年度一般会計補正予算

Q庁舎、学校、公民館等の施設で耐震化診断委託料が3885万円組まれているが、一次診断と二次診断の違いはどこか。また、二次診断が完全に終わるのはいつか。

A一次診断は、建築完成年度等により判定。二次診断は、現地確認等で詳細に行われる。12月頃を目途に行いたい。

Q耐震診断の国・県の補助は確実なのか。

A経済危機対策臨時交付金は執行予定。公共投資

臨時交付金は確定ではない。

診断経費は適正か。

A他市町の診断基準と比較しても適正と思われる。

Q麻郷小、麻里府小の統合問題もあるが、改築も考えられるのか。

A診断の結果によっては改築による対応も検討する必要がある。

物品の買入れについて

Q自動小型動力ポンプ積載車を一台購入とあるが、どこに配置するのか。

A第2分団第3班に配置する。

経済厚生



経済厚生委員会（6月22日）

経済厚生委員会は6月22日に開催し、町長提出議案の予算1件、条例2件及び請願1件並びに陳情1件を審査しました。

21年度一般会計補正予算

QAED（自動体外式除細動器）を数台購入する予算が組まれているが、一台当たりの単価はいくらか。

A一台当たり40万円程度である。

訴訟の委託料とあるのは、報告にあった住宅明渡し訴訟のことか。

Aそのとおりである。

Q住宅料の滞納額が、なぜ120万円余りと高額

になったのか。

A収入報告書の申告が少なく、保証人が死亡していたりと様々な事情が積み重なったもの。

国民健康保険条例

Q出産費用との差額が生じた場合はどうなるのか。

A医療機関への支払いが少ない場合、町に請求して差額を本人が受取り、多い場合は本人負担となる。

請願第1号

（県道周東田布施線の道路拡幅について）

この県道は、小行司地域の町民にとって生活上重要な道路であり、道路拡幅を県に要望すべきである。

陳情第2号

（尾津漁港海岸保全施設整備事業早期着工）

この地域は、台風と高潮が重なった場合、甚大な浸水の被害が予想され、早期に着工する必要が有る。

議会だより101号を 読んでの感想です

A・Yさん(60歳代男性)

卒業した安堵と満足感ではきれいなような表情をゲットした表紙です。

今号は選挙で選ばれた議員による議会構成が紹介されています。各委員会の委員が写真入りで載っていましたのでよくわかりました。広報モニターに関わる委員さんは少し顔ぶれが代わりましたね。

さて、一般質問ですが、町の現状を重くとらえた財政から苦情処理のようなものまで多彩で、おもしろく読みました。出色は、予算執行に対する賛成と反対の両面の主張が載っていたことです。古来、大陸から伝わる「陰陽道」は、宇宙の法則を月(一)と太陽(一)

の力によって解き明かした思想だそうですが、今日でも句読点として息づいています。文章に(一)と(一)がなかったら伝えたい気持ちは伝わりません。今後、このようなコーナーを設けていたきたいものです。

O・Eさん(70歳代女性) 今回の表紙は実におもしろい。大切に使用した上履きたるうか、しっかりと胸に抱えこんで卒業式を終えた喜びを友達と分かちあっている様子がよくわかる。

各委員会他の構成を見ると議員数減の中で大変なことでしょうがしっかりと動いて下さい。財政指標の推移の表では、改善の方向の見込み

とあり、努力がうかがえます。紙上への表の掲載は一目瞭然、これからも載せてほしいと思います。また議員リレ 随筆が始まったようです。町政を託す方の人となりがわかり楽しみにしています。

N・Tさん(70歳代男性)

表紙の、若さはじける笑顔は心なごみますね、希望に満ちた未来に幸あれと願わずにはおられません。

新議会発足で「議会だより」の編集メンバーも代わられたようなので、次回からは新風を吹き込んだ紙面を期待します。同じ編集スタイル、レイアウトなどマンネリ感が否めなかったため今後に期待いたします。

定例会の様子、一般質問の質疑応答に多くの紙面をさくのは分かりますが、文章が硬く雰囲気がよく伝わってきません。もう少しやさしい表現でお願いいたします。

常任委員会の様子もレポートでさらりと載って

いますが、役割が今ひとつ分かりません。本会議に出される議案の審査があるようですが審査とはいつたい、なにをするのか説明がほしいです。定例会が紛糾しないよう事前に調整する場であるのなら、委員会の役割はより大切だと思えますが?

読後感とは違いますが、載せきれない「議会情報」は町広報のホームページを活用されて、具体的にアップされることを期待しています。他市町村のホームページをときどき覗きますが、リンクを張り巡らし具体的に議員、議会の情報を載せています。新編集委員のご活躍を期待しております。

E・Tさん(60歳代女性) 表紙写真の「希望の門出」と次頁の「新議会の構成」。奇しくも共通した新しいスタート。議員の皆さんの分掌がわかり、各々の活躍を期待したい気持ちでいっぱいです。

一般質問の掲載内容は住民の関心事でもありま

す。どの議員さんが、どんな質問をされたか等、「議会だより」を通して、議会・町政の現状や方向を知る人が、多いはずで

す。「議会だより」もなりま

す。「議会だより」により、議会や町政に関心を持つ町民が、ふえていくことでしょう。「町民と町政が両輪となって歩む田布施」こそ、私達の願いです。

N・Kさん(50歳代女性) 新しい議員さんが決まり、内容も新鮮に感じられました。表紙の卒業生の笑顔がとてもよかったです。これから、将来の夢や希望の実現に向けて進んでほしいと思えました。昨年からの景気が後退して大変な状況だとは思いますが、21年度の予算は前年度より大幅に減つて、厳しい財政になったことがわかりました。

6人の議員さんが財政の健全化を質問されたことはよくわかりました。厳しい状況だからこそ、雇

用対策、少子化対策など詳しく知りたいと思えました。傍聴者も多く活気のある議会だったことが紙面からうかがえ

N・Yさん(60歳代男性)

以前から田布施町は赤字財政と聞いています。何が原因でこんなことになったのか自分の生活が忙しく町政のことなど考えても見ませんでした。議会だより101号には一般会計予算なんとか、かんとか、何千万円増何千万円減、前年比何%減とか載っている。

議員の皆さまの苦勞の跡が伺えますが、今ひとつ私などにはピンときません。

いったい総額にしているかほどの借金があるのかはたまた貯えはあるのか議会だよりで大書して公開して欲しいものです。少しは町民も緊張感が出てくるのでは?第二の夕張になる前に。

議員リレー随筆



趣味と実益

清神 清

幼いころ父親から傷ついたホオジロもらい、飼育したのが、初めて動物との出会いだ。その後、メジロ、カナリヤ、伝書鳩、カラス、金魚、ウサギ、錦鯉、カブトムシ等など、小屋作りから繁殖ま

で色々な体験をした。失敗も数々経験をした。5年前初めて赤いメダカに出会い、今はメダカにはまってしまった。赤、白、青、茶、ヒカリ、ダルマと次々に種類も増え、25種類にもなった。今では地域交流館へ出荷するようになり、静かにメダカブームが広がっている。まさに趣味が実益に変わり、私の余暇も楽しい時間変わった。



戦争体験話

河内 賀寿

軍艦や戦車の模型製作好きが高じて、どのような使われ方をしたんだろうという興味があり、戦記物を読みあさって、子供時代を過ごしました。父母やいろんな方の戦争体験もよく聞き、質

問もしました。戦争の本質が少しは理解できました。退職前の先生からは、特に自分が体験したこと、学生に伝え残しておきたいという気持ちを感じ取りました。「蛍の光」は敵性音楽なので卒業式は「海ゆかば」を歌った。6年生の時、聞きました。終戦記念日が近づくと、今は亡き父母と特集番組の批評をしていた頃を思い出します。

議会広報のモニター10名委嘱

「議会だより」が1人でも多くの人に読んでいただけるようモニター制度を設けて、感想や意見を頂いておりますが、この度、町内5校区より10名の方々に今回発行の第102号から一年間、モニターをお願いすることになりました。

(敬称略)

- 榎本 禎子 (葛岡)
- 永田 弘児 (石の口)
- 井上 和彦 (長合)
- 木村百合子 (雇用促進)
- 中原 和枝 (西田布施)
- 木村 節郎 (真殿)
- 岡本 文子 (麻郷団地)
- 小田 哲夫 (尾迫)
- 小川 健二 (尾津中)
- 中村 保男 (尾津中)



議会を傍聴してみませんか

9月定例会のお知らせ

9月10日から18日までの9日間で開催される予定です(一般質問は10日)。正式には、9月7日開催の議会運営委員会で決定します。詳しくは、議会事務局(☎52 58 00)にお問い合わせください。

編集後記

編集後記は、熊毛南高等学校の卒業アルバムに書いて以来25年振りです。アルバム委員と議会広報委員、似た作業として、写真の選定や撮影があります。ただ昔と違う点は、フィルムからデジタルカメラに変わった事です。消去が出来るのでコストを考えず何百枚も撮れます。その中からこれといった一枚が選べます。

構図や人物の表情などは腕の見せ所ですが、便利な時代になりましたね。注意点は一つ、どんなに鮮やかな写真も白黒で掲載されるといふ事。カラーと白黒では、イメージが大分違いますから。また、議会だより編集においては、一般質問と掲載写真がマッチしているかどうか、広報委員の中で熱い議論が交わされます。

広報副委員長 河内 賀寿